

【機密性 1】

令和 8 年 6 月 11 日（木）

総務企画部

オープンシティ・プロモーション室

定例記者会見 市長コメント（概要）

①令和 8 年 6 月釜石市議会定例会付議事件について（総務課・財政課） 資料 1

6 月 12 日に招集する定例会に付議する事件は、22 件。内訳は、報告 4 件、専決処分 5 件、条例 9 件、予算 1 件、その他 3 件。

専決処分のうち条例は、地方税法等の一部改正に伴い、「釜石市市税条例」「釜石市国民健康保険税条例」の一部改正の専決処分など。

専決処分のうち予算については、資料 1-7「予算の概要と主要事業」の 17 ページ、令和 7 年度補正予算の専決処分、一般会計の 1 件で、600 万円を増額し、補正後の予算額を 271 億 3,900 万円とした。

物価高対応子育て応援手当交付事業や、森林環境譲与税に係る基金積立金の調整等を行うとともに、繰越明許費補正を計上している。

条例は、市役所の庁舎の移転に合わせて、釜石市福祉事務所等の位置を改めることに伴い、「釜石市福祉事務所設置条例等の一部を改正する条例」「釜石市教育研究所設置条例の一部を改正する条例」を提出する。また、児童福祉法の一部改正により、「満 3 歳以上限定小規模保育事業」が創設されたことに伴い、「釜石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」「釜石市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」などを提出する。

6 月補正予算は、資料 1-7、5 ページをご覧ください。今議会に提案する補正予算は、一般会計の 1 件である。補正額は 1 億 8,000 万円の増額で、補正後の予算額を 217 億 3,900 万円とし、新規事業は、資料 9 ページ、2 件、1,326 万 5 千円を計上している。

今回提案する予算のうち、主要な事業を資料に沿って説明する。

資料 7 ページ、番号 2 の「地域活動人材育成事業」、予算額 1,086 万 5 千円は、国の過疎地域持続的発展支援交付金を活用し、地域内外の人材をつなぐ「地域コーディネーター」や、ワーケーションなど来訪者の受け皿となる「地域コミュニティ」、また、当市の未来を担う「若手人材」に対して横断的に人材育成を行い、地域人材の底上げと受け皿の多様化を図る

ことで、交流人口の一層の創出と地域力の拡充を目指すもの。

資料 8 ページ、番号 5 の「道路新設改良事業」、予算額 7,214 万 4 千円、番号 6 の「道路災害防除事業」、予算額 1,190 万円、番号 7 の「橋りょう改修・補強事業」、予算額 1,600 万円の 3 事業については、社会資本整備総合交付金等の国の補助金配分が当初予算額より増額となったことから、事業費を補正し、市内各所の道路橋りょう整備について、計画を前倒して促進を図るもの。

同じく、資料 8 ページ、番号 9 の「釜石市立学校閉校記念事業補助金」、予算額 240 万円は、本年度をもって閉校する白山小学校及び栗林小学校において、閉校記念事業を行う実行委員会等の団体に対し、事業に要する経費の一部を補助するもの。

その他の主要な事業については、資料 7 ページ及び 8 ページをご覧ください。

以上が、予算関連議案の概要である。

その他の議案については、庁舎内の重要機器を雷や停電から保護するための機器等を追加設置することに伴い、「釜石市新市庁舎建設(電気設備)工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて」などを提案する。

②釜石市新庁舎落成記念式典及び祝賀会の開催について(新市庁舎建設推進室) 資料 2

このたび、令和 5 年 12 月から整備を進めてきた釜石市役所新庁舎が 6 月 30 日に完成する見込みであることから、来る 7 月 25 日(土)に、落成記念式典及び祝賀会を開催する。

釜石市役所新庁舎は、当市の行政運営の中核としての役割に加え、市民の皆様の安全・安心を支える防災拠点として整備してきた。庁舎機能の維持・継続を重視し、非常用電源設備の整備やライフライン確保の工夫により、災害時においても行政機能を継続できる体制を備え、災害対策本部としての機能を十分に発揮できる施設としている。また、これまで分散していた行政機能を集約し、効率的で質の高い行政サービスを提供する拠点として、大きな役割を担うものと考えている。

庁舎内には、市民の皆様が集い交流できる空間「みんなのホール」を設けており、平時には地域のにぎわいを創出する場として、災害時には避難や支援の拠点として活用できる多機能な施設となっている。

さらに、庁舎全体にユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、わかりやすい窓口配置や円滑な動線の確保に努めるなど、すべての方にとって利用しやすく親しみやすい庁舎となる

よう配慮している。

整備にあたり、市民の皆様並びに関係各位のご理解とご協力を賜ったことに、深く感謝申し上げます。

落成記念式典では、国・県をはじめ関係機関及び本事業にご尽力いただいた皆様をお招きし、新庁舎完成の節目を共有するとともに、本市の新たな門出を広く発信していく。

また、祝賀会では、関係者の皆様と完成の喜びを分かち合うとともに、これまでのご支援への感謝を申し上げ、今後のさらなる連携強化につなげていきたい。

なお、既に6月1日発行の市広報でお知らせしているが、市民の皆様を対象とした見学会を、6月30日(火)に実施する他、落成記念式典の翌日の7月26日(日)にも、同様に市民の皆様を対象とした見学会を予定しており、7月1日発行の市広報で周知する予定としている。

今後は、新庁舎を中核として、防災力のさらなる強化はもとより、市民サービスの一層の充実と向上を図り、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを推進していく。

③新たな企業の立地について（企業立地港湾課） 資料3

このたび、アンテナ株式会社が、当市に新たに釜石支社を設置することとなり、6月1日に企業立地協定を締結した。

アンテナ株式会社は、東京都に本社を置くウェブ制作会社で、大手企業のホームページの管理や運営の他、ウェブサイトに関する戦略立案・調査・解析・改善施策の実施などを含むコンサルティングをはじめ、自治体や地域企業のDX推進、ICT発信支援にも積極的に取り組んでいる。

アンテナ株式会社釜石支社は、6月1日から当市平田地区にある釜石・大槌地域産業育成センターのシェアードオフィスにて、業務を開始している。釜石支社の本格操業に向けて、順次、新規従業員を募集し、段階的に3名の新規地元雇用を目指す意向と伺っている。また、事務所をシェアードオフィスから市中心部に移転することも検討されており、近い将来、地域のコミュニティや商店街の活性化拠点として機能することで、地元企業との協働や画期的なビジネスにより、新たな人の流れと交流を生み出してくれるのではないかと大いに期待している。

今回、アンテナ株式会社釜石支社の立地を決定いただいたことは、当市が目指す持続可能な地域経済の発展を見据える上で誠に喜ばしい限りであり、アンテナ株式会社並びに関係者

の皆様、感謝申し上げます。

市としても、このたびの立地、そして操業が円滑に進められるよう鋭意、伴走支援を行っていくとともに、今後とも、安定かつ持続的な雇用の場の創出、社会経済情勢の変化に対応した一層の企業誘致推進を図り、さらなる地域産業の振興に努めていく。

④2026年日本建築学会賞の受賞について（復興推進本部事務局） 資料4

このたび釜石市が、2026年日本建築学会賞（復旧復興特別賞）を受賞した。

受賞業績名は「復興ディレクター制と『かまいし未来のまち事業』による釜石市の復興：

長期的視野に基づく計画実装」で、釜石市のほか、伊東豊雄様、小野田泰明様、遠藤新

様、長濱伸貴様、アーキエイド様、株式会社建設技術研究所様、佃悠様との共同受賞である。

「復興ディレクター制及びかまいし未来のまち事業」は、建築・都市計画の研究者や専門家のメンバーが、行政と住民の間に立ち、将来像の共有と複雑な事業群の総合調整を担ったものである。この活動は、専門家としての助言だけに留まらず、計画立案から実装まで伴走し、地域の声と専門性を結びつける要として機能した。

この取り組みは、中心市街地においては、以前のまちの骨格を活かしながら、被災後の街の動きを止めずに、復興公営住宅や市民ホールなどの公共施設を差し込むといった独自の手法に繋がった。また、復興公営住宅では将来のストックマネジメントを見据え、市街地ではコミュニティに配慮した集合住宅、漁村部では風土に根差した戸建て住宅を整備し、「安心して暮らせる住環境」を実現、被災した小中学校では、建築・土木・都市計画を一体化した合理的で安全な学びの場を整備した。

今回の受賞は、分野横断的な統合と地域の持続性を見据えた復興の歩みが評価されたものと受け止めている。

震災から15年が経過し、釜石市が抱える課題はなお山積しているが、本受賞を励みとし、持続可能で活力ある釜石市の実現に向け、引き続き全力で取り組んでいく。